

「IHS Markit - ICEP 合同主催セミナー」開催のご案内

2018年8月2日

一般財団法人 石油開発情報センター

拝啓

日頃、弊センターの運営にご協力頂き誠にありがとうございます。

このたび、IHS Markit 社の専門家によるセミナー「Energy Market Outlook : Upstream – Understanding the New Roadmap エネルギー市場の展望：石油ガス上流 - 今後の新ロードマップ」を下記の通り開催することになりました。

つきましては、皆様方のご参加を賜りたくご案内申し上げます。

敬具

1. 日時 2018年9月14日（金）13:30 ～ 17:00 （受付開始 13:00～
意見交換会 17:00～）
2. 場所 東京コンベンションホール
住所：〒104-0031
東京都中央区京橋 3-1-1 東京スクエアガーデン 5F（大ホール B）
URL: <http://tokyo.conventionhall.jp/access.html>
Tel : 03-5542-1995 （予約/お問合せの番号です）
Fax : 03-5542-1994
3. プログラム 「IHS Markit - ICEP 合同主催セミナー」プログラム参照
（講演題目は変更の可能性が有ることをご了承ください。）
4. 使用言語 英語（通訳無し）
5. 費用 無料
6. 備考 セミナー終了後 IHS Markit 社主催の意見交換会がございます。
7. 連絡先 セミナー参加申し込みは、意見交換会の参加／不参加と併せて、
メール(okatani@icep.or.jp)、FAX（03-3222-8162）、あるいは電話
(03-3222-8156)で研究部 岡谷宛にご連絡ください。
FAX は、添付の参加連絡票ページを印刷してご使用ください。

※申し込み締切 9月3日（月）

以上

2018「IHS Markit - ICEP 合同主催セミナー」プログラム

Energy Market Outlook : Upstream - Understanding the New Roadmap

エネルギー市場の展望：石油ガス上流 - 今後の新ロードマップ

13:00～	受付
13:30	開会のご挨拶
13:40	<p>Upstream- Re-defining Competitiveness - 石油ガス上流 - 競争力を再定義する -</p> <p>2014年の下降局面の後、業界はリセットされ、再編成されました。そして、未来に向けて改革が進んでいます。企業が競争力を維持するには、どのビジネスモデルを導入し実行に移すべきかを選択するとともに、成功する上で身につける必要のある能力やトレンドも見極めなくてはなりません。その選択が、勝者と敗者を決めることになるでしょう。ここでは、最重要のトレンドと、最も求められる能力——探鉱が果たす役割、必要な分析スキル、脱炭素化と化石燃料の役割のバランスの保ち方——を中心に考察を行います。</p> <p style="text-align: right;">Bob Fryklund (Upstream Energy, Vice President & Chief Strategist)</p>
14:10	<p>Zones of Vulnerability: Mapping where down-cycle risks live on - 脆弱な領域：ダウンサイクルリスクが潜在する領域をマッピング -</p> <p>原油価格は、供給削減と地政学的リスクによって「長期的な低迷」から「長期的な上昇」局面に転じているものの、一部の重要な生産国は今後長期にわたり、最近までの下降サイクルの影響を受けることになるでしょう。その結果、脆弱な領域が変化し、それが将来の生産中断や石油政策変更を招くと同時に、新しい機会を生み出すこととなります。本プレゼンテーションでは、市場が好転する中で生産国が抱える脆弱性を探り、そうした脆弱性がアップストリーム投資家にとってどのような意味を持つことになるのかを考察します。</p> <p style="text-align: right;">Rachel Calvert (Associate Director – Exploration & Production)</p>
14:40	休憩
14:55	<p>Divergence in the Middle East: Charting the highs and lows of hydrocarbon activity within this critical region - 中東の二極化：この重要な地域における炭化水素への取り組みの違いを考察する -</p> <p>本プレゼンテーションでは中東における炭化水素の機会とキードライバーの盛衰について考察します。一部の国々が、バリューチェーン全体に対するアプローチにおいて前例のない転換を図っている一方で、政治的変化の中で、豊富な資源の開発に苦慮している国もあります。</p> <p style="text-align: right;">Sarah Haggas (Regional Director, Middle East)</p>
15:35	<p>E&P Opportunities in Southeast Asia - 東南アジアにおける E&P の機会 -</p> <p>アジア太平洋で活動する各探鉱会社の今日の戦略は、継続する投資家の期待に応え、収益化のスケジュールを活用しリスクを軽減し、国家の目標と整合を取り、企業やそのパートナーが持つ専門能力と実績に基づいて構築する、といったことを融合させたものになっています。本プレゼンテーションでは、アジア太平洋地域の各プレーヤーによる探鉱と上流分野に対する戦略に焦点を当てます。この真にダイナミックな地域におけるこの先1年間に到来する機会——入札ラウンド、契約終了、財政の変化——についても取り上げます。</p> <p style="text-align: right;">Antonio Dimabuyu (Executive Director, Upstream Research)</p>
16:15	<p>North America- How High and How Long - 北米 - どこまで増大し、いつまで続くのか -</p> <p>米国は、生産量の最高値更新に向けて、毎月新たな記録を打ち出しています。2018年には、生産量で石油11 mmb/d、ガス76 BCF/dに到達する勢いです。そして輸出量でも原油は3 mmb/d、LNGは20 MPTAに向けて記録更新中です。パーミアン地区では今年生産量が3.5 MMb/dを超え、2020年には5 MMb/dに到達する勢いで、シェール生産をリードしています。また、マーセラス地区では20 BCF/dに向かっています。イーグルフォード、バッケン、スタック、ヘーンズビル、ユティカの各主要鉱区も成長を続けています。しかし生産量増に伴い、こうした記録達成の潜在的な課題も表面化しています。パーミアンとマーセラスでは、パイプラインの輸送容量ボトルネックが浮上しており、価格低下が懸念されています。米国の生産量はどこまで増大し、いつまで続くのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">Bob Fryklund (Upstream Energy -Vice President & Chief Strategist)</p>
16:55	閉会のご挨拶
17:00～	意見交換会

※プログラムは予告なく変更される場合がありますので予めご了承ください

FAX送信状不要

ICEP 研究部 岡谷 行

「IHS Markit - ICEP 合同主催セミナー」参加連絡票

日時:9月14日(金) 13:30 ~ 17:00(受付開始13:00)		
御連絡先	御社名・部署	
	御連絡先(TEL、FAX、メールアドレスなど)	

御参加者	御芳名	所属部署・役職	意見交換会
			出席する・しない

※意見交換会 17:00~

ご参加いただける場合は、9月3日(月)までにご連絡をお願いいたします。

【 FAX:03-3222-8162 】